

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●マイルチャンピオンシップはジャンタルマンタルが優勝

11月23日(祝・日)に行われたマイルチャンピオンシップ(G I)ではジャンタルマンタル(牡4歳/栗東・高野友和厩舎)が1分31秒3のレース記録で優勝しました。同馬は今春の安田記念に加え、2歳時に朝日杯フューチュリティS、3歳時にNHKマイルCを制しており、同一年の春秋マイルG I連覇は史上9頭目、牡馬が出走できるJRAの芝マイルG I完全制覇は史上初の快挙となります。

●川田将雅騎手がJRA年間100勝を達成

11月23日(祝・日)の4回京都6日・第1レースではホットシートが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、本年6人目、自身にとっては7年連続11回目となるJRA年間100勝を達成しました。

●吉田隼人騎手がJRA通算1200勝を達成

11月24日(休・月)の3回福島6日・第11レースとして行われた奥羽Sではシェットランドが1着となり、同馬に騎乗した吉田隼人騎手(美浦・フリー)は、史上34人目・現役18人目となるJRA通算1200勝(1万4142戦目)を達成しました。

●秋の福島リーディングジョッキーは荻野極騎手

11月24日(休・月)をもって3回福島競馬が終了し、8勝をあげた荻野極騎手(栗東・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

●友道康夫調教師がJRA通算800勝を達成

11月24日(休・月)の5回東京6日・第3レースではエムズビギンが1着となり、同馬を管理する友道康夫調教師(栗東)は、史上43人目・現役7人目となるJRA通算800勝(延べ5438頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ホウオウルーレットが浦和記念(浦和)で重賞2連勝

浦和記念(JpnII、11月26日、浦和、2,000万円)は、中団から追いつけた2番人気のホウオウルーレット(岩田康誠騎手、牡6歳、父ローズズインメイ)が直線に入って間もなく最内から抜け出し、シリウスSに続いて重賞を連勝。1番人気のロードクロノスが1馬身半差の2着、デルマソトガケが3着、逃げた3番人気のクラウンブレイドが4着と、4頭出走したJRA所属馬が上位を独占しました。

●兵庫ジュニアGPはエーデルワイス賞2着のトウカイマシェリ

兵庫ジュニアグランプリ(JpnII、2歳、11月27日、園田、1,400万円)は、後方から差を詰めた3番人気のトウカイマシェリ(鮫島克駿騎手、牝、父ドレフォン)が直線入口で先頭に立つと、ゴッドバロック(北海道)に3/4馬身差を付けて優勝。2番人気のラッキーキッドが3着に入り、1番人気のローズカリスは5着、逃げたエコロレーヴは6着、ストロングボンドは最下位の12着でした。

●JBCスプリントの覇者イグナイター(兵庫)が引退、種牡馬に

JRAでデビュー後、大井を経て兵庫に移籍し、2023年のJBCスプリント(JpnI、大井)、さきたま杯(JpnII、浦和)などを制したイグナイター(牡7歳、父エスポワールシチー)は、10月13日の南部杯(JpnI)10着を最後に引退、11月6日に園田競馬場で引退式が行われました。今後は北海道のアロースタッドで種牡馬となります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●カルティエ賞～欧州年度代表馬にカラダガン

欧州競馬の年度表彰制度であるカルティエ賞の受賞人馬が現地11月19日に発表されました。年度代表馬に輝いたのはフランスのカラダガン(騾4歳、父グレンイーグルス、F.グラファール厩舎)。今年の初戦となったG1ドバイシーマクラシックはダノンデサイルの2着、続く6月6日のG1コロネーションCも2着でしたが、そこから6月29日のG1サンクルー大賞(芝2,400万円)、7月のG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(芝2,390万円)、そして10月のG1英チャンピオンS(芝1,990万円)とG1を3連勝。最優秀古馬との同時受賞となりました。カラダガンは11月30日のジャパンカップ(GI)に出走を予定しています。

●香港国際競走に向けた3つのG2が行われる

12月14日の香港国際競走に向けたステップレースとなる3つのG2が11月23日に香港のシャティン競馬場で行われました。まず行われたG2ジョッキークラブスプリント(3歳上、芝1,200万円)を制したのはカーインライジング(騾5歳、父シャムエクスプレス、D.ヘイズ厩舎)。このレース連覇を果たすとともに、連勝を15に伸ばしました。続くG2ジョッキークラブマイル(3歳上、芝1,600万円)はギャラクシーパッチ(騾6歳、父ワンジナ、P. N厩舎)が優勝。昨年10月のG2シャティントロフィー(芝1,600万円)以来となる久々の勝利を取めました。そしてG2ジョッキークラブC(3歳上、芝2,000万円)はロマンチックウオリアー(騾7歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)がこのレース3勝目を記録(2022、24、25年)。4月のG1ドバイターフ2着、そして左前肢球節の手術明けとなったレースを白星で飾っています。